

令和元年度 大学院短期招聘研究員の研究報告

令和元年度國學院大學大学院国際学術交流事業による短期招聘研究員の招聘に伴う研究活動について、下記のとおりご報告いたします。

招 聘 者：法学研究科 教授 高橋信行

招聘研究員：ニーム大学 特別研究員 Teles Da Silva Dhiego

招 聘 期 間：令和元年10月15日（火）～令和元年11月16日（土）

学術交流報告（講演会等）①

実施日時：10月24日 16時10分～17時40分

実施場所：1302教室

タイトル：フランス社会の現在①—警察留置（garde à vue）について

参加対象：一般

概 要：フランスでは、イスラム過激派のテロ活動に起因して、警察留置（警察機関による犯罪の嫌疑がある者の一時的拘束）が多用されている。本講演会では、警察留置の仕組みについて説明した上で、近年の問題点について解説した。

学術交流報告（講演会等）②

実施日時：10月28日 12時50分～14時20分

実施場所：1308教室

タイトル：フランス社会の現在②—フランスの大学制度と学生生活について

参加対象：一般

概 要：フランスの高等教育制度（大学やグラン・ゼコール）は日本のそれとは大きく異なっており、両国の制度を比較することで、それぞれの長所・短所が浮き彫りになると考えられる。本講演会では、フランスの大

学制度や学生生活について説明した上で、高等教育のあるべき姿について参加者との質疑応答を実施した。

学術交流報告（講演会等）③

実施日時：11月11日 14時30分～16時00分

実施場所：1308教室

タイトル：フランス社会の現在③—マクロン大統領と「黄色いベスト」運動について

参加対象：一般

概 要：マクロン大統領の就任に象徴されるように、フランス政治は大きな変革期を迎えている。しかし、マクロンの提唱する改革は痛みを伴うものでもあるために、激しい抗議活動も続いている。本講演会では、フランス政治の現況を説明した上で、いわゆる「黄色いベスト」運動の原因と結果について解説した。